

科目番号	科目名	担当者名	教養・専門 資格・教職	単位数	選択・必修	開講年次 ・時期
SA4	国際政治学 International Relations	李 相睦	専門	2	選択	2年秋
科目の概要						
本講義の目的は、国際政治学の基礎知識を修学する学生諸君のために、国際政治学に関する基本概念とその意味を学習する点に存在する。その際に、学生諸君は、国際政治上の基礎的な諸概念を正確に修得して行けば、今日の国際関係を的確に捉えられるようになる。その上、本講義は実際の国際政治における多様な事象に対して見識を深めると同時に、その得られる知見をもって、社会人基礎力の育成・向上に努める事も、その狙いの一つとしている。						
学修内容			到達目標			
国際政治学の諸概念の理解を徹底する。 国際政治上の一員としての意識が高められる。 国際社会での個の役割の重要性が認識できる。 社会人基礎力の能力要素が獲得できる。 自ら学び考える力が獲得可能となる。 自分で調べて自分の言葉でまとめると共に論理的に表現することが可能となる。			国際人としての、一定の教養獲得が目標となる。 国際政治の主体としての自覚が認識可能となる。 賢い市民としての意識と行動原理が修得できる。 社会人基礎力の能力要素の獲得を目標とする。 リベラル・アーツ的な学力の修得が基本目標となる。 リベラル・アーツ的な総合力の修得が最終目標となる。			
学生に発揮させる社会人 基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏 み出す 力	主体性	国際政治上の主体としての自覚に基づく行動原理を発揮できる。 ロジックな自己主張力の体得を評価する。				
	働きかけ力	意見の異なる他人との意思疎通を図って行動できる。				
	実行力	言葉と行動の一致を目指し、設定目標の達成に全力を注げる。 主体的な行動力の発揮を評価する。				
考え抜 く力	課題発見力	国際政治や国際社会に関心を持ち、問題意識を維持できる。 ロジックな異議申し立て力を評価する。				
	計画力	予習や復習時間を定めて徹底的な自己管理を行なえる。				
	創造力	与えられた課題や発見された問題以外の事柄への想像力を養える。 政治的な想像力の発揮を評価する。				
チーム で働く 力	発信力	自分の見解に自身を持ち、説得の言葉を用意できる。 表現力の修得と分析力を評価する。				
	傾聴力	他人の意見を尊重しつつも、自分の意見をも堅持できる。 他の見解への理解と整理力を評価する。				
	柔軟性	自分の意見のみに固執せず、他人の意見にも耳を傾けられる。				
	状況把握力	自分と他人との距離を縮める努力と関係性を維持できる。				
	規律性	学則や社会のルールを学修し、その実践に努められる。 ルールへの的確な体得を評価する。				
	ストレスコントロール力	自分の長所を把握し、自負心やストレスの解消に努められる。				
テキスト及び参考文献						
その都度指示する。						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連：政治学の履修とも並行しての履修を強く勧める。 本学部で取得できる資格：教職（高等学校教諭一種免許状 公民）（必修）						
学修上の助言			受講生とのルール			
国際政治的な観点から国際社会の様々な出来事を眺める習慣を付けて置く事が望まれる。			最近の重要な世界的な出来事やニュース等を必ず調べて講義に臨む事。私語禁止。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)実技・口述試験	50	①	✓	・問題を正確に捉えて、それに対する自分の見解を「自分の言葉」で纏めて、「論理的に」論じているのかを評価する。 国際政治学の基礎概念を正確に捉えているのか。 それに基礎を置く論理的な自己主張を展開しているのか。 国際政治的な事象に対する独自の視点からの分析が可能なのか。			
				②					
				③					
				④					
				⑤					
	平常評価	小テスト			①				
					②				
					③				
					④				
					⑤				
		レポート				①			
						②			
						③			
						④			
						⑤			
		成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)		40		①		✓	・独自の視点から自分の言葉での発信を評価する。 自分の力で調べ、自分の言葉で纏めて論理的に発表可能なのか。 社会人基礎力の能力要素を身に付けているのか。
						②			
						③			
						④			
						⑤			
学修行動	社会人基礎力(学修態度)		10	①	✓	(主体性)自分で調べて講義に臨み、発言するのか。 (実行力)自己哲学で考え、自分の行動論理で行うのか。 (課題発見力)講義内容に異議申し立てが可能なのか。 (創造力)政治的な想像力の修得や発揮が可能なのか。 (発信力)自分の言葉で論理的な説明が可能なのか。 (傾聴力)自己のロジックと他者の視点を理解可能なのか。 (規律性)諸ルールの遵守の日常化を図っているのか。			
				②	✓				
				③	✓				
				④					
				⑤					
総合評価割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
筆記試験・成果発表・その他の合計が 90%以上に「秀」、80%以上に「優」を付与する。	筆記試験・成果発表・その他の合計が 70%以上に「良」、60%以上に「可」を付与する。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	講義の概要説明 講義の概要と国際政治学の全般を説明する。	講義 質疑応答の形式を試すと共に、講義を進行する。	国際政治学の全般的な説明と講義の流れや到達目標等を理解できる。	(予習)シラバスを熟読してその趣旨を正確に理解して置く。	180 ～ 190	主体性
2週 /	国際政治とは 国際政治学の諸概念と理解に努める。	講義と討論 参加型の講義形式を中心に進行する。	討論への自発的な参加が出来る事。	(予習・復習)前回の講義内容の復習と今回のテーマについて関連する事項等を詳細に調べて来る事。	180 ～ 190	課題 発見力
3週 /	国民国家 国際政治上の国家の意味を捉える。	講義と討論 自主的な参加形式を強く要望する。	討論への自発的な参加が出来る事。	(予習・復習)前回の復習及び今回のテーマの論点を調べて来る事。	180 ～ 190	主体性
4週 /	外交 近隣諸国との外交の在り方を探る。	講義と討論 質疑応答	近隣諸国とのベターな外交形態を想定する事。	(予習・復習)前回の復習及び今回のテーマの論点を調べて来る事。	180 ～ 190	課題 発見力
5週 /	国際紛争 国際紛争の様々な形態を把握する。	講義と討論 質疑応答	外交の一形態としての国際紛争を吟味する事。	(予習・復習)前回の復習及び今回のテーマの論点を調べて来る事。	180 ～ 190	課題 発見力
6週 /	ナショナリズム 国家主義の形成背景を考察する。	講義と討論 質疑応答	国家主義の弊害をも把握する事。	(予習・復習)前回の復習及び今回のテーマの論点を調べて来る事。	180 ～ 190	発信力
7週 /	帝国主義 今何故帝国主義かを検討する。	講義と討論 質疑応答	帝国主義の跋扈の背景を分析できる事。	(予習・復習)前回の復習及び今回のテーマの論点を調べて来る事。	180 ～ 190	実行力
8週 /	国際主義 国際主義の意味を究明する。	講義と討論 質疑応答 前半の反省点と教員への中間評価	国際主義の台頭の国際的な環境を探る事。	(予習・復習)前回の復習及び今回のテーマの論点を調べて来る事。	180 ～ 190	柔軟性

回数	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	第三世界 第三世界の存在意義を説明する。	講義と討論 質疑応答	第三世界の正確な意味を捉える事。	(予習・復習)前回の復習及び今回のテーマの論点を調べて来る事。	180 ～ 190	状況把握力
10週 /	冷戦体制 冷戦体制・冷戦構造を吟味する。	講義と討論 質疑応答	冷戦体制の成立過程を掘り下げる事。	(予習・復習)前回の復習及び今回のテーマの論点を調べて来る事。	180 ～ 190	計画力
11週 /	北朝鮮問題 北朝鮮問題を検討する。	講義と討論 質疑応答	東アジアにとっての北朝鮮問題の解決策を探る事。	(予習・復習)前回の復習及び今回のテーマの論点を調べて来る事。	180 ～ 190	主体性
12週 /	戦争と責任 戦争の原因と背景を説明する。	講義と討論 質疑応答	戦争の防止策は存在するかを考える事。	(予習・復習)前回の復習及び今回のテーマの論点を調べて来る事。	180 ～ 190	柔軟性
13週 /	国際政治文化 世界と文化とを究明する。	講義と討論 質疑応答	政治文化の国際性への影響を探る事。	(予習・復習)前回の復習及び今回のテーマの論点を調べて来る事。	180 ～ 190	柔軟性
14週 /	日本と世界 日本の位相を分析する。	講義と討論 質疑応答	世界での中の中の日本の役割を分析する事。	(予習・復習)前回の復習及び今回のテーマの論点を調べて来る事。	180 ～ 190	発信力
15週 /	纏めと展望 以上を纏めて論評する。	討論と論評 講義と授業・教員への総合的な評価 試験問題の公表	以上をリベラル・アーツ的な知力に纏めて論評する事。	(予習)リベラル・アーツ的な総合力の観点から纏めて来る事。	180 ～ 190	主体性

能力名：①主体性 ②働きかけ力 ③実行力 ④課題発見力 ⑤計画力 ⑥創造力 ⑦発信力 ⑧傾聴力
⑨柔軟性 ⑩状況把握力 ⑪規律性 ⑫ストレスコントロール力